



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	コア・コポホールディングス株式会社 三島新工場プロジェクト	BEE	1.2	BEEランク	B+
				★★★	

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	凡例	詳細
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5		ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価	凡例	よい 4 点以上	
				ふつう 3 点以上	
				がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.9	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①耐用年数が高い給排水配管を使用している。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ②BEI=0.6、 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避/⑭衛生設備に節水コマが付けられている。⑮LGS使用している。 ■敷地外環境対策 (⑯地球温暖化への配慮/⑰温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して81%。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑫ 1.2.2 ⑫ 2 2.1 2.1.1 ⑬ 2.1.2 ⑬ 2.1.3 ⑬ 2.1.4 ⑬ 2.1.5 ⑬ 2.1.6 ⑬ 3 3.1 ⑭ 3.2 3.2.1 ⑮ 3.2.2 ⑮ 3.2.3 ⑮ LR-3 1 ⑯ 2 2.2 ⑰	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑬ 自然エネルギー利用 ⑭ 設備システムの高効率化 ⑮ モニタリング ⑯ 運用管理体制 ⑰ 節水 ⑱ 雨水利用システム導入の有無 ⑲ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑳ 材料使用量の削減 ㉑ 既存建築躯体等の継続使用 ㉒ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉓ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉖ 有害物質を含まない材料の使用 ㉗ 消火剤 ㉘ 断熱材 ㉙ 冷媒 ㉚ 地球温暖化への配慮 ㉛ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)			
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯節水型器具を採用している。井水を利用予定。 ⑰食堂にケーブルTV設置予定。無停電装置が設備されている。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑰ 耐震性 ⑱ 免震・制振性能 ⑲ 空調・換気設備 ⑳ 給排水・衛生設備 ㉑ 電気設備 ㉒ 機械・配管支持方法 ㉓ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)			
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑯階高が3.9m以上。 ⑰(壁長さ比率) < 0.1。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑱地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯ 3 3.1 3.1.1 ⑰ 3.1.2 ⑰ Q-3 3 3.1 ⑱	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑳ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 ■敷地外環境対策 (㉒温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	Q-3 1 ⑱ 2 ⑲ 3 3.2 ⑳ LR-3 2 2.2 ㉒	㉑ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コア・コクボホールディングス株式会社	階数	地上2F
建設地	静岡県三島市三ツ谷工業団地土地	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし(法22)	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021/03/31 予定	評価の実施日	2020/02/01
敷地面積	36,806 m ²	作成者	谷 直人
建築面積	4,404 m ²	確認日	2020/03/10
延床面積	4,806 m ²	確認者	小久保 龍平



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 81% (36 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 81%

④上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂の排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
CASBEE静岡2016年版による評価結果です。 耐用年数が長い給排水配管を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、緑づくり取り組み、地球環境保護に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 階高が3.9m以上。そして耐用年数が長い給排水配管を使用している。[壁長さ比率] < 0.1。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEIm = 0.6。	LR2 資源・マテリアル 衛生設備に節水コマが付けられている。そしてLGS使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して81%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される